

木造伝怒(如)仲天ぎん坐像



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうでんじょちゆうてんぎんざぞう
所在地	矢掛町横谷 洞松寺
指定年月日	平成12年3月28日
解説	木造寄木造、胡粉地彩色、玉眼、挿首、総高87cm。怒(如)仲天ぎんは、信濃国出身の曹洞宗の僧侶で、洞松寺創建時に招かれ、同寺の開山となった。室町時代中期の作。「ぎん」は門がまえに「言」
アクセス方法	
公開状況	非公開
設備	
備考	